

水稲のセジロウンカ防除について

岡山県病害虫防除所の7月25～27日の巡回調査によると、セジロウンカの発生圃場率は77.8%と平年（56.1%）よりやや高くなっています。また、捕虫網20回振りによるすくいとり虫数は1圃場あたり179.5頭と平年（26.9頭）より多く、そのうち701頭以上の値を示す甚発生圃場は10%と平年（0%）より高くなっています。このため、圃場を観察して発生動向に注意し、株当たり虫数が10頭を超える場合は速やかに防除を行ってください。

＜防除対策および防除上の参考事項＞

- (1) セジロウンカの要防除水準は『7月下旬～8月中旬の株元見取り調査（任意の50株×2か所）で株当たり成幼虫数が10頭以上』である。
- (2) 防除薬剤は表1の単剤あるいはその成分を含有する混合剤を参考とし、薬剤が株元に十分到達するよう散布する。
- (3) 農薬の使用に当たっては農薬使用基準を厳守し、安全・適正に使用する。また、周辺農作物に薬剤が飛散しないよう十分注意する。
- (4) 最新の農薬登録情報は農林水産消費安全技術センターホームページで確認できる。
アドレス <http://www.acis.famic.go.jp/searchF/vtllm000.html>

表1 水稲におけるセジロウンカの主な防除薬剤

薬 剤 名	農 薬 使 用 基 準		
	使用時期 (収穫前日数)	使用回数 (対象剤のみ)	希釈倍数または 使用量
バッサ粉剤DL ¹⁾ バッサ乳剤 ¹⁾	バッサ剤は混合剤の1成分のため、本剤を含有する各混合剤の使用基準を参照		
トレボン粉剤DL ^{1) 2)}	7	3回以内	3～4 kg/10 a
トレボン乳剤 ^{1) 2)}	21	3回以内	1,000～2,000倍
トレボン粒剤 ^{1) 2)}	21	3回以内	2～3 kg/10 a
アドマイヤー水和剤	7	2回以内	2,000倍
アドマイヤー1粒剤	7	2回以内	3 kg/10 a
MR. ジョーカー EW ¹⁾	14	2回以内	2,000倍
MR. ジョーカー粉剤DL ¹⁾	7	2回以内	3～4 kg/10 a
ベストガード水溶剤	14	4回以内	2,000～4,000倍
ベストガード粒剤	14	4回以内	3～4 kg/10 a
アプロード水和剤	7	4回以内	1,000～2,000倍
アプロードフロアブル	7	4回以内	1,000倍
アプロード粒剤	7	4回以内	3～4 kg/10 a
アルバリン/スタークル粉剤DL	7	3回以内	3 kg/10 a
アルバリン/スタークル粒剤	7	3回以内	3 kg/10 a
ダントツ粉剤DL	7	3回以内	3～4 kg/10 a
ダントツ水溶剤	7	3回以内	4,000倍

¹⁾ の薬剤は水産動物に対する被害が発生しやすい地域および発生するおそれのある地域では使用しない。

²⁾ の薬剤は連用を避け、全栽培期間での使用回数は2回以内とする。

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。アドレスは、
http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=239 です。